

第45回ローザンヌ国際バレエコンクール2017

ローザンヌバレエ、準決勝で日本から4人が選出 明日の決勝に臨む

里信邦子

2017-02-03 21:49

コンクール決勝の結果については、最新の記事「[中尾太亮さん3位、山元耕陽さん4位](#)
[ローザンヌ国際バレエコンクール決勝](#)」と「[ローザンヌバレエ、準決勝で日本から4人が選出 明日の決勝に臨む](#)」も併せてご覧ください。



「シンデレラストーリー」を踊る藤本結香（ゆいか）さん。感情表現に富む踊りに会場から拍手が沸いた

(swissinfo.ch)

ローザンヌ国際バレエコンクール2017の準決勝で2月3日、20人の決勝進出者が決まった。日本からは、藤本結香（ゆいか）さん、山元耕陽（こうよう）さん、中尾太亮（たいすけ）さん、太田倫功（りく）さんの4人が選ばれ、明日の決勝に臨む。4人に喜びの声を聞いた。

藤本結香さん

4人の中で一番若い藤本結香（ゆいか）さんは、山口市出身の15歳。決勝に残った喜びを「うれしいというより、びっくりしました」と語った。

クラシックもきちんとしていたが、コンテンポラリーの「シンデレラストーリー」は、シンデレラが怒っている時やうんざりしている時の振りなど、個々の動きに感情がこもり、顔の表情も変化に富んだ素晴らしい踊りだった。

実は日本で準備した時、個々の動きの意味を考えると先生に言われ、ストーリーをノートに書き「自分のシンデレラストーリーを作った」という。「でも、ここでコーチに詳しく動きの意味を説明され少し訂正を入れました」

明日は、楽しんで踊りたいという。

山元耕陽さん

山元さんは、「アクリ・堀本バレエアカデミー」から出場した4人のダンサーの1人。決勝進出が決まり、「びっくりした。とにかくうれしい。支えたくれた両親に直ぐに知らせたいです」と話した後、「明日は、他の決勝に出場できないかな。父の公明さんが、ぜひ見たいです」と続けた。



第45回ローザンヌ国際バレエコンクール2017

ローザンヌバレエ、藤本結香さんにビデオインタビュー

Carlo Pisani, 里信邦子

ローザンヌバレエ2017の2日目、コンテンポラリーのクラスでコーチが次々と違う動きを教える。それらすべてを正確に飲み込もうと、藤本結香（ゆいか）さんはもう一つのグループが踊っているときも、片隅で手や足を使って動きのおさらいをしている。すごい集中力だ。全参加者の中で4番目に若い104のゼッケ...

「明日は、他の決勝に出場できないみんなの力までかんはりたいです」と続けた。

クラシックでは、ポジションがきちんとした踊りで、観客からブラボーの声が飛んだ。

中尾太亮さん

昨年ローザンヌバレエに出場したが、怪我で準決勝の舞台に立てなかった中尾さんは、「今年はきちんと衣装を着て舞台上で踊れたので、まずそれが何よりもうれしかった。明日は、150%を出そうといった風に力を入れすぎないように、普段の練習通りにやり最後まできちんと踊りたい」と話した。

中尾さんのクラシックは、高いジャンプやピタリと決まったそれぞれのポジションが美しく、全体に優雅さが漂った。



クラシックの「白鳥の湖」の一部で、鳥のように宙を舞う中尾太亮さん
(swissinfo.ch)

太田倫功さん

太田さんは、ドイツのジョン・クランツ・バレエ・スクールの3年生。今日の準決勝

ハルツェルは、クラシックのジャンプと美しいポジションで完璧に決めた。コンテンポラリーのほうも、音に乗った動きがピタリと正確で、ジャンプも美しく、観客から歓声の声があふいた。

また、踊った直後に「今日はリラックスしてうまく踊れた」と話していた大田さんは、決勝進出が決まって、「本当にうれしいです。でも明日があるから油断はできない。今日のようにリラックスして楽しみたい」と結んだ。

ところで、クラシックのコーチを担当するパトリック・アルマンさんは準決勝前、「今年の男子のレベルは全体に高く、とてもいい。日本の男子にも、いいダンサーが3、4人いる」と話していた。

第45回ローザンヌ国際バレエコンクール

同コンクールは、ブランシュバイグ夫妻によって1973年に創設された。15～18歳の若いダンサーを対象にした世界最高の国際バレエコンクールで、若いダンサーの登竜門の一つとも言われる。目的は伸びる才能を見だし、プロになるための支援をすることにある。

今年は、2017年1月30日から2月4日まで開催。昨年秋のビデオ審査で選ばれた17カ国の68人が参加した。このうち日本からは12人。過去11年間、日本はいつも最多数のダンサーを送り込んできた。

例年通り今年も、二つの年齢グループ（15～16歳と17～18歳）に分かれて4日間コーチを受け、5日目の2月3日には参加者全員が舞台上で踊り、決勝進出者20人が選ばれた。

明日2月4日の決勝では、この20人から8人の入賞者が選ばれる。全員同額の奨学金を得て、希望するダンススクールかカンパニーで1年間研修ができる。なお、同コンクールには、世界的に有名な53のダンススクールとカンパニーが協賛している。

今年の審査委員は9人で構成され、審査委員長は英国ロイヤル・バレエ団のディレクターであるケヴィン・オヘア氏。またベルギー王立ロイヤル・フランダース・バレエ団のプリンシパル、斉藤亜紀さんも審査員の1人として参加する。